

第1673号

2023年  
4月25日

定価1部300円  
定期購読  
半年 5400円  
1年 10000円  
振替番号  
00140-5-95121

# 労働新聞

http://japanlabor.party/ shinbun@japanlabor.party

日本労働党中央委員会機関紙

発行所 労働新聞社 本社 〒102-0072  
東京都千代田区飯田橋4-1-5 ポザール飯田橋2階  
編集発行人 高橋信 電話 03-3265-6506 / FAX 03-3265-6507

北海道支社  
〒001-0033  
札幌市北区北33条  
西6-1-10-206  
電話 011-558-4441

関西支社  
〒532-0011  
大阪市淀川区西中島5-8  
-29チサン第3新大阪501  
電話 06-6586-9920

九州支社  
〒812-0042  
福岡市博多区豊1-3-8-302  
電話 092-483-1344

## 第94回メーデーに際し、全ての労働者に訴える

### 日本労働党中央委員会

すべての労働者の皆さん！

第94回メーデーに際し、日本労働党は熱烈な連帯のあいさつを送ります。

世界はまさに戦争を含む乱世、歴史的転換点

二つの大戦を通じて確立した米帝国主義を頂点とした世界支配秩序が崩れています。中国の政治的・経済的台頭と、これまで帝国主義列強によって搾取され虐げられてきたグローバルサ



ストライキで闘う英国の教育労働者

ウスと呼ばれる新興国・途上国が大きく前進しています。

米欧日などの主要7カ国(G7)が物が顔にふるまってきた時代は終わりを告げています。

欧米の帝国主義本国の労働者はストライキなどで闘い政権を揺るがしています。

米欧は深刻な社会の分裂と政治対立で揺れ動いています。帝国主義の世界支配は大きく揺らぎ、世界の労働者階級の闘いの前進にとって有利な時代になって

います。

これを押しとどめようとする米欧・バイデン政権は、「民主主義対専制主義」などといった台頭する中国を抑え込むために、さまざまに世界の分断を図って戦争の危険を高めています。

「台湾独立」をあり、ウクライナに続く代理戦争を東アジアでも画策しています。

わが国岸田政権も「G7議長国」の立場を内外政治で最大限利用しながら、米国の意を受けて外交攻勢

に出ています。グローバルサウスを引き付けようとする起っています。

ウクライナへのロシアの侵攻は許されませんが、米

国をはじめ北大西洋条約機構(NATO)諸国はウク

ライナへの軍事支援・武器供与を際限なくエスカレートさせ、戦争を長引かせ、双方に多大な犠牲者を生んでいます。際限のない戦線の拡大は核戦争の危機をもたらして、「戦争か平和か」が真剣に問われています。即刻の停戦でこれ以上犠牲者を出さないことが最も重要です。中国が表明した「和平への立場」も各国に影響を及ぼしています。

岸田政権に「直ちに停戦」のための外交を求めます。

資本主義世界の経済・政治危機は末期

世界経済の危機は、コロナ禍とウクライナ戦争が重なっていちだんと深まっています。エネルギーや食料、原材料の高騰は世界的なインフレとなっていていちだんと深まっています。世界の労働者は自らの生活を守るため闘いに立ち上がっています。とりわけフランスやイギリスをはじめ欧州各

国の労働者は、年金改悪に反対したり、大幅賃上げを要求したりして大規模なストライキや抗議行動を繰り返しています。階級対立は激化し、各国の政権を揺さぶっています。

インフレ抑制のための各国の高金利政策は、リーマン・ショック以来の米欧などでの金融機関の破綻連鎖などとなってさらに危機を拡大しています。新興諸国の債務問題も深刻化し、世界経済危機の大きな火種となっています。

今また物価高騰の波が次々と押し寄せ、諸物価値

の最中です。労働者階級とすべての抑圧された人々の解放を実現する革命政党の強化は待ったなしです。

先進的労働者は、世界の流れを見極め、わが国労働運動が、力を蓄え、戦線を広げ、広範な国民運動の中心として成長するように共に闘いましょう。

第94回メーデー万歳！  
万国の労働者  
被抑圧民族は団結せよ！

沸き起こっています。世界の資本主義は行き詰まり、ますます末期の様相を呈しています。

対米追従からの脱却、独立・自主の国の進路を

衰退する米国は、単独では中国に対処できず、「統合抑止」といつてわが国を対中国の最前線に立たせようとしています。

わが国支配層・岸田政権は、経済でも安全保障でも米国に追随し、米国の衰退を見越しながらアジアでの盟主の座を確保する狙いもあり、米国の対中国戦略の最前線に立っています。

岸田政権は、昨年末、国家安全保障戦略をはじめ「安保3文書」を改定し、日米安保体制下での「専守防衛」という戦後の安全保障政策を大転換しました。

敵基地攻撃能力の保持を明記し、中国を「最大の脅威」として戦争準備、軍備拡大を進めています。九州・沖縄、南西諸島への自衛隊基地の新設、強化、長距離ミサイルの配備などが急ピッチです。米国の対中国抑止政策の強化で、偶発的な軍事衝突の可能性が高まっています。こうした中

国敵視、戦争準備に対して経済界や保守層内部にも動揺が生まれています。沖縄では「再び戦場にすなわ」との声が上がり、戦争準備に反対して平和外交を求める新たな国民運動が始まっています。平和を願う全国の人々は、沖縄県民の闘いに呼応し全国で連帯して、戦争と軍拡増税に反対する声を上げましょう。

生活できる賃金闘い取ろう

今春闘で、大手などでのベースアップなど、昨年までとは少し違う様相となりました。しかし、非正規、未組織など多くの労働者は取り残されたままです。すべての労働者の生活向上と要求実現のため最後までがんばりましょう。

世界は危機の中にありますが、大きな歴史的転換点の最中です。労働者階級とすべての抑圧された人々の解放を実現する革命政党の強化は待ったなしです。

先進的労働者は、世界の流れを見極め、わが国労働運動が、力を蓄え、戦線を広げ、広範な国民運動の中心として成長するように共に闘いましょう。

第94回メーデー万歳！  
万国の労働者  
被抑圧民族は団結せよ！

機に陥れ、非正規労働者をはじめ低賃金にあえぐ多くの勤労者の生活を直撃しています。高齢者への犠牲の押し付けも強まっています。現状の打開と生活を守りたいという大多数の国民の声を結び付けて、政治の変革をめざす広範な国民運動をつくり上げましょう。

世界の流れを見極め、力を蓄え、戦線を広げよう

労働運動は、アジアの平和と共生のために役割を果たせていません。アジアの平和と共生のためには対米追従から脱却して独立・自主の政権を打ち立てる以外に道はありません。ほとんどの野党は、中国脅威論に屈服し、中国批判などで政権に追随し、政策的な対抗軸を立てていません。

世界は危機の中にありますが、大きな歴史的転換点の最中です。労働者階級とすべての抑圧された人々の解放を実現する革命政党の強化は待ったなしです。

先進的労働者は、世界の流れを見極め、わが国労働運動が、力を蓄え、戦線を広げ、広範な国民運動の中心として成長するように共に闘いましょう。

第94回メーデー万歳！  
万国の労働者  
被抑圧民族は団結せよ！

本紙5月5日号は休刊し、5月15日号との合併号とします。編集部